

平成28年度「学校マニフェスト」と結果・検証

項目	マニフェスト具体的内容 (重点項目)	数値目標	結果及びその検証
①人間性豊かな子どもの育成 (徳) ○あいさつ・返事の習慣化 ○温かい言葉づかひの指導	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の定着を図り、心豊かな子どもを育成する。 特別支援教育と人権教育をすべての教育活動の根底に位置付け、いじめや差別を許さない強い意識を持つとともに、友達を大切にすることを育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「きまりを守る」「あいさつや返事をする」などの基本的な生活習慣の定着を図る。→児童のアンケートで、各項目90%以上の行動化率をめざす。 学級の人間関係づくり調査の分析と課題解決策の実行→学級満足群率の向上を図る。(第2回QU調査実施 注1) 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の定着▲ 規範意識の向上▲→次年度要継続事項 QU結果の検討会議や振り返りによる学級づくりの見直しを図った。学級満足群率○
②確かな学力の定着 (知) ○「協同学習」(注2)による学び合いの確立 ○学習規律の徹底 ○聞く力・表現する力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 「わかる授業」の徹底を図る。 時間通りに授業がスタートでき、静かな環境の中で授業を行うための意識の定着を図る。 「話を聞く」「自分の考えを伝える」力を伸ばすための授業づくり(場づくり)に取り組む。 「協同学習」の研究推進に取り組む。 保・中連携の強化と日常化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 協同学習による学び合いの効果分析(学校評価アンケート) 「8つのきまり」重点事項の定着率の向上と点検評価を行う。(学校評価アンケート) 全国学力学習状況調査→県平均以上 学習到達度調査、県診断テスト →経年比較による数値の向上 保育園・中学校連携→公開保育・授業参観、情報交換会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 協同学習による学び合い効果は、児童の肯定的評価○ 「8つのきまり」重点事項の定着率▲→次年度要継続事項 全国学力学習状況調査結果は、国語AB、算数Aは全もしくは県の平均○ 算数Bは全・県とも▲ 学習到達度調査 全やや▲ 県診断テスト概ね県○ 学習到達度調査の経年比較2,3,5年で○ 4,6年やや▲ 保小中連携は計画通り実施○
③健康でたくましい 子どもの育成 (体) ○生活の中での体力づくりの推進 ○給食・食育指導の充実 ○安心、安全のための安全教育	<ul style="list-style-type: none"> 学校と家庭との連携を深め、子どもの学校生活に対する諸課題に対応し、体力向上と食育の充実に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 本年度、新たな長期欠席児童を出さない。昨年度の長期欠席児童数の減少をめざす。(昨年度比) 朝食の全校摂取率の向上を図る。(昨年度比) 持久力や瞬発力等の維持と握力や腹筋、ボール投げについて県平均をめざす。(昨年度比) 	<ul style="list-style-type: none"> 30日以上長期欠席の新規児童は少ないが、体調不良等での連続欠席の児童の出現率が増えている。 朝食摂取率は98.7%○ 持久力や瞬発力○ 握力や腹筋、ボール投げやや▲
④開かれた学校づくり (信) ○学校評価の実施と公開 ○地域ボランティアの活用 ○保小中連携充実 ○土曜開校の活用	<ul style="list-style-type: none"> 児童、教職員、保護者、地域が双方向で連携を深め、地域全体で、子どもを育てる文化の構築を図る。 保育園から中学校までの15年間を見通した連携を推進する。 土曜開校を活用した授業づくり(まち未来科の導入) 	<ul style="list-style-type: none"> 芝生化により、外遊びをする児童の推進→昨年度比1.5倍(学校評価アンケート) CS学習支援部の実施内容についての児童・教職員・支援者の満足度の向上 保育園と小中学校間の教職員交流、園児児童生徒間交流満足度の向上(学校評価アンケート) 共通実践の項目の設定(H28.29) 土曜開校に伴い、地域や保護者の来校者を増やす。(昨年度比) 	<ul style="list-style-type: none"> 擦り傷等の発生率は減少傾向 天候に関係なく、外での遊びは増加傾向 CS(注3)による普段の授業や放課後実施の学習補充等の支援について児童、教職員ともに満足度○ 土曜開校日の来校者1月現在で昨年度比140%○

※表内の記号について ○全国・県の平均、もしくは昨年度比を上回っている
▲全国・県の平均、もしくは昨年度比を下回っている

注1、QU調査とは、子どもの学校生活意欲と学級満足度、対人関係を築く際に必要なソーシャルスキルを調べる児童アンケートです。

注2、協同学習とは、教師主導の受け身学習ではなく、子どもが主体的に、仲間と対話する中で学び合っていくという考え方のことです。

注3、CSとはコミュニティ・スクール(地域協働学校)の略です。南部町では地域の人と協働して学校づくりに取り組んでいます。